

2018年度第3回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日時：2018年8月1日（水） 午後6時30分から
- 2 場所：国分寺労政会館 第2会議室（3階） （国分寺市南町3-22-10）
- 3 議決権のある理事：8名
出席者：座間直壯、田中ヒロ、手嶋孝典、堀渡、堀越洋一郎、矢崎省三
欠席者：清田義昭、齊藤誠一
事務局：

（1）第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・2018年8月1日現在
正会員84名2団体 賛助会員46名1団体、計130名3団体（合計133）
- ・前回理事会から会員数の変化はなし
- ・昨年度未納会費の入金状況は、前回と変わらず（正会員1名、賛助会員3名）
- ・2018年度会費の納入率は7/31現在 正会員81%、賛助会員72%

（2）第2号議案 『多摩デポ通信第』47号について【報告】

- ・予定より遅れたが、「8月1日付」で、7月31日に、印刷、発行した。
- ・第33回多摩デポ講座の案内は、『通信』の発行を待たず、図書館等にはチラシの郵送で、メーリングリスト登録会員にはMLで7月13日に連絡した。メール登録のない会員には印刷したハガキで7月19日に連絡した。
- ・巻頭に「TAMALAS 一括処理システム」の申請受付開始という行動提起を載せられた。他に、塩見昇氏の総会記念講演会の報告、感想や、（株）カーリルのメンバーの書いた論文の紹介、西日本豪雨による図書館資料の被災など、コンパクトだが幅のある紙面構成にすることができた。
- ・総会時に参加者から提案されたように、一面に目次を入れてみた。そのまま索引にできるように文言をフルに入れるのはスペースを取り過ぎてしまい、紙面上の制約が大きいようだ。
- ・この程度に簡略的なものでいいので、毎号載せることにしてはどうか。行事の告知などを載せる必要から、1面に載せるのが難しい場合は、2面でもいいではないか。

（3）第3号議案 第33回多摩デポ講座について【報告・協議】

- ・前回の理事会の確認にそって、寺田芳朗氏の講演を8月6日（月）に実施することにし、準備と広報を進めてきた。
- ・寺田氏からは「……多摩での講演なので、図書館の勉強を始めた頃の思い出の資料が前半、後半で書庫について考えてきたこと、そして多摩での保存図書館構想とそのプログラムの視点について、A3で9ページの資料を作った。複写していく」と連絡が入っている。
- ・参加者は、多摩市在住の会員ほか20人程度は来られる見込み。現役の図書館員の参加は夏休み繁忙期でもあり、難しいか？懇親会は開催の方向で考える。
- ・図書館施設の問題は今後どの自治体でも迫られてくることであり、貴重な機会なので、できるだけ参加するように声をかけていく。
- ・講演を元にブックレットを作ることは可能か。予算上は来年度の事業となるが、多摩地域の図書館の将来にとって大事な資料になるのではないか。

(4) 第4号議案 T A M A L A S一括処理システムの公開と運用について【報告・協議】

- ・7月10日(火)午後開催された東京都市町村立図書館長協議会(2018年度第2回例会)で、多摩地域の全市町村の図書館長にT A M A L A S一括処理システムの紹介と登録申請書の配布を行った。
- ・数日のうちに、国分寺市立図書館から申請があり、ID、パスワードを発行、盛んに使ってもらっている。思うように動かなかった部分について、システムの問題、使い方の問題の両面で、当該館とやり取りし直していくことができた。現在は、同市の要望についてはすべて対応できている。
- ・多摩デポがNPO法人の認証を受けた組織であることが、意味を持ったと考えられる。
- ・他の自治体からの申請が続いて寄せられてくるにはどうしたらいいか。
- ・多くの自治体で使ってもらえれば、T A M A L A Sについて新たな要望や改良点が見えてくるだろうし、「バーチャルからリアルへ」という共同保存の実態を作っていく上での課題も動き始めるだろう。
- ・次の多摩デポ講座は、この活用実績を取り上げながら企画できるとよいのではないか。

(5) 第5号議案 (株)カーリルとの共同研究について【報告・協議】

- ・定例会は、第33回定例会を7月25日(水)に行った。
- ・国分寺市の図書館長が前半は出席してくれたので、一括処理システムを使用している問題点や使い勝手の指摘、事前に聞いていた点についての改良報告、その場でのやり取り等が行えた。
- ・2万タイトル近くのデータを一度に入れて使われることは想定していなかった。対応力の改良によりうまく動くようにはなったが、同時に多くの自治体が大量データを投入するようになった時に、結果を返してくるまでに時間がかかってしまうかの問題など、多く使われるのは望ましいことだが新たな課題の可能性も見えてきた。
- ・定例会で(株)カーリルの方が、「まず、いかに使ってもらうかが課題」と言っていたが、それが現状を先に進めるポイントではないか。
- ・次回の定例会までに、どう活用を促し、寄せられる質問・課題にどう答えていくか。
- ・T A M A L A S一括処理システムの運用が順調に始まれば、今後はI S B Nが付与されていない資料の同定の研究に力を注いでいく。という確認に従い、次回の定例会を行う。
- ・(株)カーリルが試行的に作った「多摩デポ統合検索システム」が現状でどこまで使えるか、事務局員等で1~2月に一人3データずつ実験した。得られた結果、書誌のバラつきをどこまで認識し、書誌同定に使えるかを検証している。2月の定例会で結果や疑問点を話題にし、(株)カーリルに結果を持ちかえってもらっている。次回はそれを受けた議論から始める予定。

(6) 情報交換

- ・多摩デポブックレット第12号「永江朗氏講演録」編集
 - ・永江氏に、版下ゲラを7月24日(火)に送っている。それが戻り次第、直して、けやき出版に持ち込む予定である。これまでの規格と同じで54ページ、1000部、600円の予定。
- ・定款変更の認証申請について
 - ・東京都生活文化局のNPO法人担当から7月31日(火)に堀事務局長にメールが入った。「……認証手続きを進めるために軽微な変更をお願いします」というものだが、8月1日に電話したところ、メールした担当者は不在で、定款変更自体は今行わなくても、認証手続きはすすめられるのかの確認はまだとれていない。

- ・7月の西日本豪雨の図書館被害の問題について、日本図書館協会の災害対策委員会が8月9、10日の日程で視察に行く。(矢崎理事参加)
- ・全国図書館大会第11分科会「出版流通」(10月20日土曜、午後)の講演者が永江朗氏、報告者が福嶋聡氏である。→会場等でブックレット販売につなげられないか。→日本図書館協会で可否を確認する。(座間)

【多摩デポ記事】

- ・特になし

【共同保存図書館関連論文】

- ・特になし

- ★ 次回の理事会 10月2日(火)か4日(木) 午後6時30分～
- ☆ 次回の事務局会議 8月17日(金) 午後6時30分～
会場:調布みんなの広場 5番テーブル
- ★ カーリルとの共同研究 第34回定例会 9月14日(金) 午後6時30分～
会場:国分寺労政会館 3階 第2和室

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、手嶋孝典理事、矢崎省三理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2018年8月1日

議長

議事録署名人

議事録署名人